

働き方を変え、社員が辞めない会社へ

株式会社 大東システムエンジニアリング

総務部長 行木 純子 氏

本講演では「働き方を変え、社員が辞めない会社へ」というテーマのもと、当社がIT業界特有の課題にどう向き合い、改善を進めてきたかをご紹介します。

IT業界では、長時間労働や業務の属人化、客先常駐やリモートによる孤立感、スキルアップの時間不足といった問題が多くの企業で共通しています。これに対し当社は、ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態）を軸に、社員が安心して働き続けられる環境づくりを進めてきました。

まず待遇や労働環境の改善として、勤怠システムを刷新し残業アラートや残業の承認制を導入、時差出勤や中抜け制度を設けるなどして長時間労働を抑制しました。また一人常駐を避けチーム参画を徹底し、スケジュールにも余裕を持たせることでプロジェクトを円滑に遂行するため様々な工夫をしています。住宅手当をはじめとしたさまざまな手当を充実させ初任給をアップするなど金銭面の支援も充実させ、男性育休取得率100%を達成するなど、誰もが働きやすい体制づくりを進めています。

キャリアアップ面では、社員の「want(やりたいこと)」「can(できること)」「must(求められること)」のバランスを重視した配置を行い、年2回の面談や資格取得支援、社外研修参加を積極的にサポートしています。部署を越えた横のつながりを強化する勉強会も実施し、互いの知識を共有できる環境を整えています。

さらに、お客様・関係する他社様・当社社員の三者がWin-Winとなる関係構築を重視し、働きやすい環境でない場合は受注しない判断をするなど、社員の心身を守る方針を徹底しています。業務範囲を明確にした契約や一次請け案件の拡大により、会社と社員双方にメリットを生む仕組みづくりにも取り組んでいます。

またエンゲージメント向上のため、オフィス移転しカフェや自宅のような居心地の良い空間を提供し、交流会・全社会・社員旅行などのイベントでコミュニケーションを活性化しています。自己紹介アプリや短時間ミーティングの定例化、役職者に対しても「さん付け」で呼ぶ文化づくりなど、心理的安全性を高める施策も進めています。

これらの取り組みにより、平均残業時間は年々減少し、離職率も低下しました。ストレスチェックの結果でも「働きやすさ」が高い評価となり、確かな効果を得られました。IT業界では人こそが最大の財産であるため、社員の幸福を高めることが企業価値の向上につながるという考え方のもと、今後も働きやすい職場づくりを続けてまいります。